

あなたとあなたの
たいせつな人のために

がん検診を受けましょう。

保険健康課 ☎84-0327

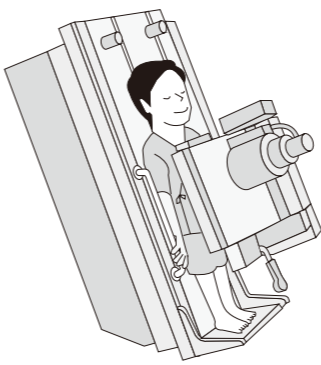
日本人の死亡原因の第1位は「がん」で、35歳から84歳までの幅広い年齢層でトップとなっています。第2位は「心疾患」、第3位は「脳血管疾患」と続いています。がんによる死亡は、群を抜いています。開成町でも死亡原因の第1位は「がん」となっています。がんを早期に発見するためには自覚症状がないうちに検診を受けることが何よりもたいせつです。町では町民のみなさんが検診を受けやすいように態勢を整え、生涯健康の支援をしていきます。

胃がん

胃がんは胃壁の内側の粘膜細胞から発生します。早期に発見して、治療した場合、治る率が最も高いのが特徴です。野菜、果物をあまり食べない、タバコを吸う、お酒をよく飲む、塩辛いものを好むなどの生活習慣がある方は要注意です。

がん検診内容

胃エックス線検査
バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み胃の形や粘膜をいろいろな角度から観察します。



胃がんが疑われる症状

- 胃が痛い
- 胸やけがする
- 黒い便が出る
- 食の嗜好が変わる

大腸がん

食事の欧米化に伴い、男女とも増加しています。特に女性では、部位別死亡率の第1位になっています。肛門に近いS状結腸、直腸のがんが日本人には多いです。野菜、果物をあまり食べない方、タバコを吸う方、お酒をよく飲む方、塩辛いものを好む方は要注意です。

大腸がん検診内容

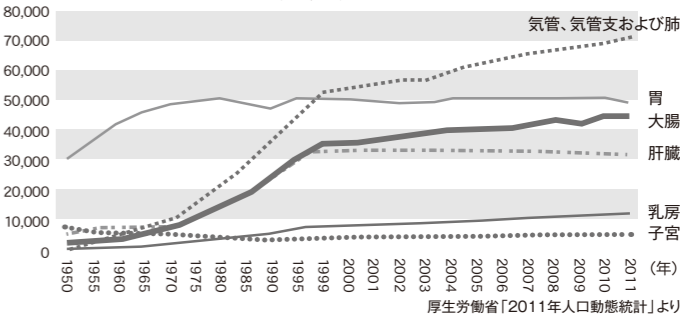
がんやポリップなど大腸に異常があると出血がみられます。便の中の血液を調べ、大腸内から出血していないかを

大腸がんが疑われる症状

- 便に血が混ざっている
- 便が細くなった
- 便秘と下痢を繰り返す
- 便がのこる感じ
- 貧血
- 体重減少

調べる検査です。事前の申込により容器をお渡ししますので、2日分の便の検体を提出していただきます。

がんの主な部位別死亡者数の年次推移



肺がん

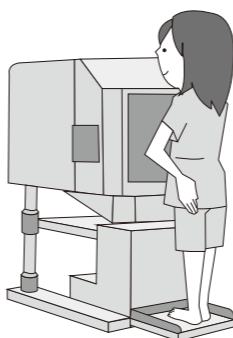
自覚症状が少なく、発見された時にはかなり大きくなっていることが多いため、がん死亡のトップになっています。タバコとの関係が深く、50歳以上で喫煙指数（一日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上だと危険性が高まります。

肺がん検診内容

胸部エックス線検査で調べます。また、喫煙状況や職業、自覚症状等により、危険性の高い方には、痰にがん細胞が混ざっていないか調べる喀痰細胞診検査を行います。

肺がんが疑われる症状

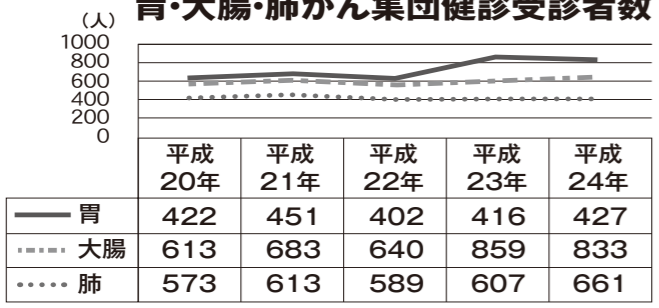
- 咳がなかなか止まらない
- 痰がよく出る
- 痰に血が混ざっている



町のがん検診の受診状況

毎年5月に胃・大腸・肺の同時集団検診を役場駐車場の特設会場で行っています。毎年の受診状況は左のグラフのとおりです。大腸がん検診受診者数が平成23年度から急に増えていますが、これは、国のがん対策基本法に基づき「大腸がん無料検診」を特定年齢に対して開始し、新しい受診者が増えたためです。

胃・大腸・肺がん集団健診受診者数



大腸がん無料検診対象者はぜひ受診してください

今年度も大腸がん無料検診を次の生年月日の方に行います。この機会にぜひ受診してください。2日分の便容器と問診票の提出になりますので、代理の方の提出もできます。

平成25年度 大腸がん無料検診対象者

年齢	生年月日
40歳	昭和47(1972)年4月2日~昭和48(1973)年4月1日
45歳	昭和42(1967)年4月2日~昭和43(1968)年4月1日
50歳	昭和37(1962)年4月2日~昭和38(1963)年4月1日
55歳	昭和32(1957)年4月2日~昭和33(1958)年4月1日
60歳	昭和27(1952)年4月2日~昭和28(1953)年4月1日

気になる症状がある場合はぜひ受診を

「気になる症状」がある方は検診を待たず、早めに医療機関を受診してください。その際は、どのような症状か、いつごろからかなどをメモするなどしてできるだけ詳しく医師に伝えてください。

がんを防ぐための十二か条

予防対策を効果的に行えばがんの発生をある程度抑えることができます。がんの三大リスクは男女とも「喫煙（受動喫煙を含む）」「感染」「飲酒」です。生活習慣を見直し予防しましょう。

- 1条 たばこは吸わない
- 2条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
- 3条 お酒はほどほどに
- 4条 バランスのとれた食生活を
- 5条 塩辛い食品は控えめに
- 6条 野菜や果物は豊富に
- 7条 適度に運動
- 8条 適切な体重維持
- 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条 定期的ながん検診を
- 11条 身体の異常に気がついたらすぐに受診を
- 12条 正しいがん情報でがんを知ることから

「もしも、がんが見つかったら怖いから・・・」と検診を受けないのはもったいない！

がんは、命にかかわる病気です。まさか私が・・・と、もしそうだったら・・・と思う気持ちはみんな同じです。しかし、あなたとあなたのために、検診を受けましょう。

胃・大腸・肺がん集団検診のお知らせ

町では5月21日(火)・22日(水)・23日(木)・24日(金)の4日間、胃・大腸・肺がんの集団検診を保健センター前特設会場で行います。40歳以上で、新規に希望する方はお申込ください。胃がん検診は安全上、完全予約制とさせていただきます。

今までに胃や肺の病歴がある方は、集団検診では精密検査になる可能性が高いので、治療した医療機関での経過観察をお勧めします。集団検診での受診の都合がつかない方は、胃、大腸がん検診は、1年間を通して地域の医療機関で受けることができます。受診できる医療機関等については保険健康課へお問い合わせください。開成町国民健康保険加入の方は人間ドックの費用助成制度がありますのでご利用ください。